

▼エースコール錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】 テモカプリル塩酸塩 temocapril hydrochloride 【分類】 ACE 阻害薬

【単位】 ▼1mg・▼2mg・▼4mg/錠

【常用量】 2～4mg/日

【用法】 分1

【透析患者への投与方法】 少量より開始し、常用量の75%をめやすに減量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 いずれも少量から開始するが、Ccr 10mL/min 以上：減量の必要なし、Ccr<10mL/min：75%に減量 (5)

【特徴】 エチルエステル体のプロドラッグで、他の ACE 阻害薬に比べて活性体の尿中排泄率が比較的低い。

【主な副作用・毒性】 空咳、血管浮腫、高カリウム血症、肝障害、血球減少、急性腎不全など

【モニターすべき項目】 血圧、白血球数、腎機能、尿蛋白定性

【tmax】 活性体 1～1.6hr (1)

【代謝】 主に肝臓でエステラーゼによる加水分解を受け、活性体（テモカプリラート）に変換される (1) ごく一部がテモカプリラート S-オキシドに変換される (1)

【排泄】 尿中回収率 34～35%で、ほとんどが活性体 (1)

【t1/2】 14.5～21.5hr (1) 【透析患者の t1/2】 活性体においては、t1/2 と AUC に腎機能低下に伴い軽度の増大が認められたが、いずれのパラメータにおいても有意な差はなし (1) 腎機能正常者の t1/2 は 6.7hr で Ccr 18.6mL/min では 8.2hr に延長するのみ (1)

【蛋白結合率】 未変化体 70%、活性体 98% [主に Alb] (1)

【MW】 513.08

【透析性】 活性体はほとんど除去されない (5)

【O/W 係数】 テモカプリル LogP=1.10、テモカプリラート LogP=-1.37 [1-オクタノール/水系, pH6.0] (1)

【相互作用】 AN69 膜による透析、ならびにデキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコール又はポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器によるアフェレーシスを施行中の患者では使用禁忌 (1) ARNI とは 36hr 以上あけて切り替え (1)

【更新日】 20201217

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。